

ずーずーみゃーくずまんかい

vol. 15

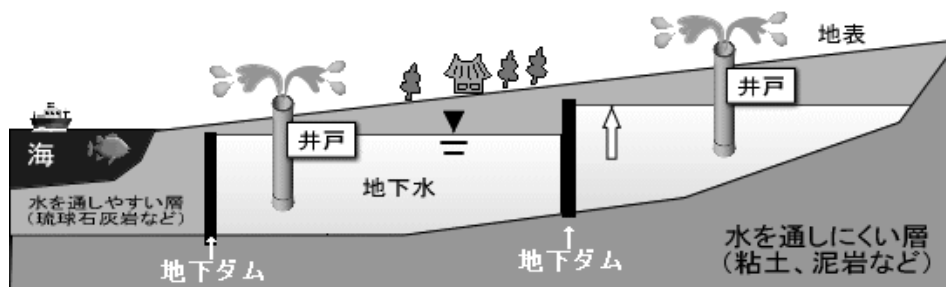
修学旅行の全体行程がかなり決まってきました。実はマリンスポーツの見学者用の別メニューを少し準備しなければいけないかと思っていたのですが、全マリンスポーツが参加できない見学者はほとんどいなかったもので、別メニューは用意しないことに決定しました（ビーチで見学になります）。

でも、まだまだ宮古島には島ならではの伝統産業を体験する別メニューがありました。先生もちょっとやってみたい裏メニューもあったんで……。残念！

→下記事につづく

宮古島の水について前々号で質問をしました。…ほとんど川のない宮古島には空からみてもダム湖もありませんし、水はどこに溜めているのでしょうか。

実は島全体で水を溜めているのです。しかも見えない場所に。宮古島は水を通さない地下の岩盤が傾斜しており、ちょうど壁になってくれる地盤もあるため、地下水が海の方へ流れないようにうまく堰きとめることで、地下水をキープできるのです。つまり地下にコンクリート製の堰が作られていて、「地下ダム」というシステムになっています。



→ところが、飛行機の便が決定し（朝はともも早い集合時刻になりましたが、その代わりに）たくさんの時間、宮古島に居れることが分かりました。また、見学者メニューは用意しないことを決定したことで、体験メニューが浮いてきました。

そこで……当初の予定を変更して、この裏メニューだったものを4日目に全員でできるように入れてしまおうと思います。（担当者としては「これで宮古島でやれることは全てやれる」というナイスなプラン変更!!と自画自賛）

宮古焼き、宮古上布、宮古民具、宮古染め、三線など後日、紹介する体験メニューから一つ選択してもらいますね。（それぞれについてはまだ質問しないでね）



↑ 飛行機から撮った宮古島。
ちなみに、もしもこんな写真が撮りたければアナログカメラが必要です。（デジカメは着陸直前なので使用禁止ですね。）